

「日本語を楽しもう2」を使って 21 課

「されたこと・困ったこと」

(2004年12月7日実施)

学生： ・就学生(中国人)7人 - うち5人は10月に来日。但し、国で数ヶ月～半年程度日本語を学んで来ている。

・一般(インドネシア人)1人

教科書： 「日本語を楽しもう2」21課1 よく先生にしかったです

目標： 子どものときどんな子だったか、ほめられたり叱られた経験を話す。インタビューする。

中心文型： _____子でした。/ _____て、 _____に _____られました。

授業の流れ：

1. 提示 1 (話題/アイデア/語彙)

対話したり、絵を見せたりしながら子どもの頃のことを思い出してもらい、後の練習で必要となる内容の具体的なイメージを持たせ、語彙も紹介していきました。この段階で多くの学生は、単語を並べて、頭の中にある言いたいことを何とか伝えることはできましたが、正しい文にはなっていません。

<教師>

- ・子どものときのことを思い出してみよう。
- ・どんなことが得意でしたか。何か賞をもらいましたか。
- ・勉強の成績はどうでしたか。
- ・いい子でしたか。どんな子でしたか。

<学生>

- ・よく勉強しました。宿題も授業中に終わりました。
- ・よくとなりの席の友だちとおしゃべりしました。
- ・弟とけんかしました。
- ・書道、絵、作文
- ・英語のテストは90点ぐらい
- ・真面目な子、おしゃべりな子、正義感のある乱暴な子(?)

2. 練習 1

提示 1で出てきたアイデア、語彙を使って正しい文にしていきました。

・A: _____さんは 小さいとき どんな子どもでしたか。

B: _____子でした(ね)。よく/毎日/いつも _____。

全員で質問し、ひとりひとり答える練習

・テープ聞き取り、内容確認、リピート練習

3. 提示 2

「ほめる」の意味をおさえ、「 _____に ほめられました」の文型を提示、次に理由もつけて

「____て、____に ほめられました」を提示しました。「しかる」も同様。

<教師>

- ・家の手伝いをしたとき、お父さん、お母さんは何か言いましたか。
- ・書道で賞をもらったときは。
- ・悪いことをしたときは、どうでしたか。
- ・例えばどんなことをして。

<学生>

- ・いい子だね、えらいね、ママ大好きよ何も言わない(不満顔で)
- ・先生にほめられました。
- ・しかられました
- ・友だちとけんか

4.練習 2

提示 1、2 で出てきたアイデア、語彙を提示 2 の文型にのせて正しい文にしてみました。

- ・ _____て、_____に ほめられました。
_____て、_____に しかられました。
ひとりずつ自分の経験を文型を使って言ってみる

- ・ テープ聞き取り、内容確認、リピート練習

5.会話

- ・ テープ聞き取り、リピート練習
- ・ タスク(インタビュー)

感想：

授業は準備通りのこちらの問いかけに予想通りの反応が学生から返ってきて、予定通りに流れていきました。かと言って、淡々と進んだというわけではありません。このクラスの良いところは・ほとんどの人が予習(テープを聴いたり、教科書をながめて、わからない語彙を調べする程度)をしてくる、・積極的に練習に参加する、・お互いの意見をよく聴く、という点です。また、ツボを心得た学生たちで、教科書の要点を押えた練習をしながらも、「会話を楽しむ」部分を疎かにしません。

例えば、今回の練習 1 の A、B の 2 行会話にしても、練習 2 の 1 行の文型練習にしても順番に指名された学生が言い放して終わるということはありませんでした。必ず誰かから「へえ、どうして?」「やっぱりね!」「本当に?」などとつっこみの一言が入ります。そこで反論したり、説明を加えたり、笑いが起こったりと、ひと展開して価値のあるやりとりが生まれるのです。

10 月に学期が始まったばかりのころの新入生たちは優等生的で、質問に正しく答えることだけで満足していた感じも多少ありましたが、クラスでの人間関係ができていき、学生がテキストに慣れ、授業のパターンをつかむにつれて、会話の楽しみ方も身についた感じでした。今では毎回学生と共に密度の濃い教室活動を創造していく喜びのあるクラスです。今回もいつもと変わらない雰囲気です。充実した時間が共有できたと思います。見学に来ていただいた方々にもご協力いただき、ありがとうございました。(阿字地道代)